



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 Jストリーム
コード番号 4308 URL <http://www.stream.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 清
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 保住 博史

TEL 03-5765-7744

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,156	△4.4	△43	—	△34	—	△53	—
23年3月期第1四半期	1,209	△7.3	△83	—	△70	—	△120	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △52百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △124百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△385.69	—
23年3月期第1四半期	△864.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	3,305	2,525	72.4	17,350.60
23年3月期	3,297	2,589	74.5	17,763.52

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,392百万円 23年3月期 2,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	5,185	△2.3	110	—	145	504.1	100	—	724.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期においては、電力需要が増加する傾向にある夏場を含む第2四半期連結累計期間における業績動向に関して合理的な予想が困難であることから、同期間における業績予想は行わず、通期の業績予想のみを公表いたしております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	140,287 株	23年3月期	140,287 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,389 株	23年3月期	1,931 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	138,084 株	23年3月期1Q	138,966 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、3月に発生した東日本大震災による生産・輸出の落ち込みや、広範な被害に伴う自粛ムードの広がり、節電への取り組みなどが消費の減少につながったことから急速な落ち込みを見せましたが、徐々に回復傾向にあります。インターネット業界においては、広告の絞り込みやイベント等の取りやめに伴う需要の減少が見られ、電力の供給に関する不安も続いておりますが、スマートフォンの普及などのニュースもあり、新たな消費に繋がる話題は引き続き多い状況にあります。

このような環境下ではありますが、当社グループは、一層の普及が見込まれるスマートフォン対応の一環として、動画変換ASPサービス「MobaVio」のAndroid端末対応を開始したり、同サービスを他社のウェブサイト自動変換サービスと連携して提供する仕組みを構築するなど、ニーズにあわせたビジネス展開を実施しております。また、DRM（著作権保護）の主要な形式であるPlayReady®に対応したスマートフォン向け動画・音楽配信サービスを提供するべく、10月の端末販売開始にあわせたサービスインに向け開発を継続しております。需要面では、企業ユーザーによる広告、販売促進目的の映像配信利用は震災の影響から回復しつつあり、販売件数は増加傾向にあります。引き続き価格要請も厳しい状況にあります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高1,156百万円（前年同期比4.4%減）、連結営業損失43百万円（前年同期は連結営業損失83百万円）、連結経常損失34百万円（前年同期は連結経常損失70百万円）、連結四半期純損失は53百万円（前年同期は連結四半期純損失120百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業別の売上は次のとおりであります。

（配信事業）

配信事業は、当社グループが保有する配信インフラ、ネットワーク、ソフトウェア資産を顧客に提供し、利用料を得る事業です。PC視聴を対象とするライブ及びオンデマンドストリーミング、ダウンロードサービス、携帯電話やスマートフォン向けの配信サービス、配信に伴って利用される付随する各種アプリケーションのカスタマイズ等が含まれます。当第1四半期連結累計期間においては、「ブライトコープ」や「クロスデバイスライブ」など、ユーザーが映像配信を多様な用途に活用しやすくするアプリケーションサービスの開発・販売を通じて受注拡大を図りました。講演会のライブに関する大口の受注があり、ライブ配信サービスが順調に推移しました。モバイル関連は、iチャンネル向けASPサービスの値下げの影響が大きく低調な推移となりました。当事業の売上高は576百万円となりました。

（制作・システム開発事業）

制作・システム開発事業は、ウェブサイトや配信システム、コンテンツ等の制作・開発を顧客から受託し、成果物を提供する事業です。配信する映像等コンテンツの制作や、コンテンツを視聴する受け皿となるウェブサイトの制作、顧客が一般消費者向けに展開するコンテンツ配信ビジネスのシステム開発等が含まれます。同事業は配信事業とあわせて当社グループが提供するワンストップサービスを構成しており、顧客ニーズに応じたクリエイティブ提案を通じ、配信事業とあわせて受注拡大を図りました。当第1四半期連結累計期間においては、コンテンツ期初の震災影響による広告系の受注減少や、大型の情報発信サイトの顧客事情による縮小等があり低調に推移しました。当事業の売上高は445百万円となりました。

（コンテンツビジネス事業）

コンテンツビジネス事業は、コンテンツの権利所有者との契約に基づき、ネットワークデバイスを活用し、一般消費者をターゲットとするコンテンツプロバイダ事業です。コンテンツ配信ウェブサイトの運営受託や、当社グループが主体となったコンテンツウェブサイトの展開等が含まれます。当第1四半期連結累計期間において、運営するウェブサイトの会員数は知名度の高いアーティストの活動に伴い増加しました。当事業の売上高は129百万円となりました。

（その他）

その他の売上には案件の進行に伴い随時発生する、上記3事業にあてはまらない売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は4百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

【資産、負債及び純資産の状況】

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、3,305百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。主な要因は、以下のとおりであります。

流動資産は、売掛金の減少が主な要因となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、2,499百万円となりました。

固定資産は、ネットワーク関連設備のリース資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、806百万円となりました。

流動負債は、夏期賞与支給のための未払費用の増加などにより、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、620百万円となりました。

固定負債は、リース債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、160百万円となりました。

純資産は、四半期純損失の計上などにより、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、2,525百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表致しました連結業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,561	773,997
受取手形及び売掛金	984,467	788,524
商品	4,969	5,007
仕掛品	21,704	58,543
預け金	730,000	730,000
その他	130,226	161,206
貸倒引当金	△5,637	△17,888
流動資産合計	2,505,292	2,499,390
固定資産		
有形固定資産	279,393	295,708
無形固定資産		
のれん	39,730	36,376
ソフトウェア	243,401	245,237
その他	15,780	17,835
無形固定資産合計	298,913	299,450
投資その他の資産		
投資有価証券	90,237	90,158
その他	139,419	140,046
貸倒引当金	△15,778	△18,928
投資その他の資産合計	213,879	211,276
固定資産合計	792,185	806,435
資産合計	3,297,478	3,305,825
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,863	7,594
未払金	355,989	358,404
未払法人税等	21,290	5,908
引当金	20,647	29,452
その他	124,593	219,171
流動負債合計	555,384	620,532
固定負債		
引当金	11,561	11,561
資産除去債務	17,118	17,210
負ののれん	65,994	59,394
その他	57,578	71,988
固定負債合計	152,251	160,154
負債合計	707,636	780,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	1,268,458	772,584
利益剰余金	△926,094	△483,477
自己株式	△66,968	△78,707
株主資本合計	2,457,775	2,392,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△87	△166
その他の包括利益累計額合計	△87	△166
少数株主持分	132,152	132,524
純資産合計	2,589,841	2,525,138
負債純資産合計	3,297,478	3,305,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,209,344	1,156,104
売上原価	755,955	770,265
売上総利益	453,388	385,838
販売費及び一般管理費	536,735	428,896
営業損失(△)	△83,346	△43,058
営業外収益		
受取利息	2,411	1,828
負ののれん償却額	6,599	6,599
その他	5,098	4,019
営業外収益合計	14,109	12,447
営業外費用		
支払利息	829	711
自己株式取得費用	—	1,012
その他	1	1,987
営業外費用合計	831	3,710
経常損失(△)	△70,067	△34,321
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,141	—
特別利益合計	3,141	—
特別損失		
減損損失	33,365	—
貸倒引当金繰入額	—	15,795
本社移転費用引当金繰入額	11,826	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,615	—
その他	994	—
特別損失合計	54,801	15,795
税金等調整前四半期純損失(△)	△121,727	△50,116
法人税、住民税及び事業税	2,618	1,952
法人税等調整額	578	815
法人税等合計	3,196	2,768
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△124,924	△52,884
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,796	372
四半期純損失(△)	△120,127	△53,257

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自平成２２年４月１日 至平成２２年６月３０日)	当第１四半期連結累計期間 (自平成２３年４月１日 至平成２３年６月３０日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△１２４，９２４	△５２，８８４
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	８７	△７９
その他の包括利益合計	８７	△７９
四半期包括利益	△１２４，８３７	△５２，９６４
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△１２０，０４０	△５３，３３６
少数株主に係る四半期包括利益	△４，７９６	３７２

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	コンテンツ ビジネス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	563,535	521,504	117,272	1,202,312	7,031	1,209,344	—	1,209,344
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,729	7,557	3,878	29,165	1,402	30,567	△30,567	—
計	581,265	529,062	121,150	1,231,478	8,433	1,239,912	△30,567	1,209,344
セグメント利益又は 損失(△)	140,852	△39,748	△13,317	87,786	165	87,952	△171,299	△83,346

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△171,299千円には、セグメント間取引消去△150千円及び配賦不能営業費用△171,149千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、固定資産減損損失を33,365千円計上いたしました。この内、制作・システム開発事業における減損損失計上額は4,130千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	コンテンツ ビジネス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	576,795	445,129	129,970	1,151,896	4,208	1,156,104	—	1,156,104
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,144	5,753	5	12,904	1,779	14,684	△14,684	—
計	583,940	450,883	129,976	1,164,800	5,988	1,170,788	△14,684	1,156,104
セグメント利益又は 損失(△)	107,194	△268	△13,026	93,899	675	94,575	△137,633	△43,058

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△137,633千円には、セグメント間取引消去△150千円及び配賦不能営業費用△137,483千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成２３年６月２９日開催の定時株主総会決議に基づき、資本準備金６６８，４５８千円を減少させ、その他資本剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金のうち４９５，８７３千円を繰越利益剰余金に振替え、欠損を補填しました。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。